

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2009-247056(P2009-247056A)

【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-042

【出願番号】特願2008-87999(P2008-87999)

【国際特許分類】

H 02 K 41/03 (2006.01)

H 02 K 11/00 (2006.01)

H 02 P 25/06 (2006.01)

H 05 K 13/04 (2006.01)

【F I】

H 02 K 41/03 A

H 02 K 11/00 C

H 02 P 7/00 101 B

H 05 K 13/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月24日(2010.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定子と、該固定子に沿って直線的に往復移動する可動子と、該可動子の位置を検出可能な磁気センサとを有するリニアモータが、複数個設けられるリニアモータユニットであって、

隣り合う前記磁気センサは、互いに、それぞれの前記可動子の移動方向に対して異なる位置になるように設けられることを特徴とするリニアモータユニット。

【請求項2】

前記リニアモータユニットは、前記可動子に固定され、前記可動子の位置を特定する情報が記録されているリニアスケールを有し、該リニアスケールには、所定の位置に、基準点を示す原点信号情報が記録され、前記原点信号情報が、少なくとも2箇所に、所定の間隔を空けて記録されている請求項1記載のリニアモータユニット。

【請求項3】

前記リニアモータユニットは、前記可動子に固定され、前記可動子の位置を特定する情報が記録されているリニアスケールを有し、該リニアスケールには、所定の位置に、基準点を示す原点信号情報が1つ記録され、

隣り合う前記リニアモータ同士で、互いに、前記磁気センサの位置に応じて前記原点信号情報の記録位置が異なる請求項1記載のリニアモータユニット。

【請求項4】

請求項1記載のリニアモータユニットにおいて、

前記リニアモータは、当該磁気センサの取付位置が複数種類に分類されるものであり、各種類のリニアモータが予め定められた順序で交互に配置されていることを特徴とするリニアモータユニット。

【請求項5】

請求項 4 記載のリニアモータユニットにおいて、

前記可動子に固定され、当該複数種類のリニアモータの何れも一つだけ基準点を認識するように間隔を隔てて記録される複数の原点信号情報を保持するリニアスケールを備えている

ことを特徴とするリニアモータユニット。

【請求項 6】

供給された電子部品を保持して、所定の位置まで移動し、前記所定の位置に前記電子部品を載置する電子部品移載装置であって、

固定子と、該固定子に沿って直線的に往復移動する可動子と、該可動子の位置を検出可能な磁気センサとを有するリニアモータが、複数個設けられるリニアモータユニットであって、

隣り合う前記磁気センサは、互いに、それぞれの前記可動子の移動方向に対して異なる位置になるように設けられるリニアモータユニットと、

該リニアモータユニットの各前記リニアモータの前記可動子に一体に取り付けられ、該可動子の移動とともに昇降して、前記電子部品を保持するノズル部材とを有することを特徴とする電子部品移載装置。